

駐日ラテンアメリカ大使 インタビュー

第18回 ホンジュラス

マルレーネ・ビジェラ・デ・タルボット
駐日ホンジュラス大使
ホンジュラスに投資を、そして輸入を
— この国をもっと知ってほしい —



ホンジュラス共和国のマルレーネ・ビジェラ駐日大使は、このほどラテンアメリカ協会のインタビューに応じ、日本との貿易・投資関係、エルナンデス大統領の訪日、眞子内親王殿下下のホンジュラスご訪問、日本の経済協力および青年海外協力隊、日本への期待等について見解を表明した。

ビジェラ大使は外務省入省後、駐米大使館勤務、1985年から98年まで米州女性委員会（CIM）ホンジュラス全権代理、1992年から98年まで米州機構（OAS）大使及び常任委員、2002年から10年まで駐台湾大使を務めた後、2010年9月より駐日大使。

インタビューの一問一答は次のとおり。

—大使が初めて日本を訪問されたのは、昔日本で
行われたミス・インターナショナルのコンテストにホ
ンジュラス代表として参加するためだったと伺いま
したが、その時の印象はいかがでしたか。

大使 初めての訪日はおっしゃるとおり1977年、日
本で行われた第17回ミス・インターナショナルにホ
ンジュラス代表として参加するためでした。歴史と
伝統の古いことでよく知られた日本の土を踏めると
いうのでわくわくしました。横浜、神戸、京都など
を訪れました。新幹線にも乗ることができ、実に素
晴らしい経験でした。

—今回大使として日本に着任されて5年余りになら
れますが、これまでの日本滞在で最も印象深い思い
出は？

大使 この5年間で最も印象深いことと言えば個人
的にはやはり2011年3月の東北大震災です。被災地
は凄まじい状況下にはありましたが、しかしなによ
り感動したのは、そのような状況のもとでも被災地
の方々が秩序、自制心、規律を失わなかったことです。
深刻な水不足や食料不足がありましたが、ヒステリ
ックになったり、騒動を起こしたりする人はいま
ませんでした。

他方、ホンジュラス大使としての立場で申し上げ
れば、5年間この国で大きな挑戦を受けたことです。
つまりホンジュラスや中米をいかにこの国の人々や
オピニオン・リーダーに知って頂くか。ラテンアメ
リカといえばブラジル、ペルー、メキシコ等資源や
日系人の多い国は注目されますが、ホンジュラスは
ほとんど知られていません。日本の方々にいかにし
てホンジュラスを知って頂くかということに腐心し
ています。

—1998年11月、ハリケーン・ミッチで被災したホ
ンジュラスに対し、わが国は国際緊急援助隊として
自衛隊の部隊を派遣しました。日本が国際緊急援助
隊として自衛隊を海外に派遣したのはこれが初めて
でした。“グラシアス・ハボン”という声が街のあち
こちで聞かれ、市民が心から歓迎してくれました。
そして2005年に日本がドイツ、インド、ブラジルと
G4を形成し、国連の安保理改革のイニシアティブを
とった時、ラテンアメリカで共同提案国として支持
してくれたのは唯一ホンジュラスでした。

大使 ハリケーン「ミッチ」はホンジュラスに20世
紀最大の災害をもたらし、被害は全土に及びました。
多くの人命が失われ、インフラが破壊され、国民に

とっては忘れ難い歴史的出来事です。その時日本はホンジュラスと連帯して対処しようとはるばる日本から6機の輸送機とともに自衛隊緊急援助隊を派遣し、医療・防疫活動に従事して頂きました。ホンジュラスと日本の二国間関係において画期的なことであり、ホンジュラス政府もすべてのホンジュラス国民も心から感謝しており、決してこのことを忘れないでしょう。

日本等G4による国連の安保理改革案をホンジュラスが支持し、共同提案国になった頃、自分（ビ大使）は台湾に在勤しており、その決定の経緯等については詳らかではありませんが、はっきりしていることは、ホンジュラスは国連の安保理改革の必要性を痛感しているということ、そして共同提案国の4カ国がいずれもホンジュラスの友好国であるため当時のマドゥロ大統領が共同提案国になる決断をされたのも自然であると思います。

一今年是中米5カ国との外交関係樹立80周年に当たり、日・中米交流年と定められています。そして本年7月にはホンジュラスからはエルナンデス大統領が訪日されました。また本年12月には眞子内親王殿下がホンジュラスをご訪問の予定です。ホンジュラスと日本の現在の二国間関係についてどう見ておられますか。

大使 ホンジュラスをはじめ中米諸国はこの80年間一貫して日本との友好関係を維持しており、この節目の年を盛大に祝いたいと思います。本年7月のエルナンデス大統領の訪日は大成功でした。天皇・皇后両陛下との会見、安倍総理との首脳会談、共同声明の発表、国会議長、友好議連、経団連等との会合、企業代表との投資セミナーの開催等も行うことができ極めて有意義でした。最近のやや停滞した両国間関係から抜け出し、また日本と再会できたような気がしています。大統領は安倍総理の集団的自衛権を可能とする法改正にも支持を表明しました。近く眞子内親王殿下がホンジュラスをご訪問になりますが、皇室のご訪問としては12年前の清子内親王殿下のご訪問以来です。日本の象徴のホンジュラスに対する愛情と親善の表われであり非常に意義深いと考えます。ホンジュラスにあるコパン遺跡の発掘と保存には日本の協力に負うところが大きですが、眞子様は首都テグシガルパのみならずこれらの遺跡もご訪問されると聞いています。

一今年是日本とホンジュラスの間で青年海外協力隊員(JOCV)派遣取極が締結されてから40周年です。ホンジュラスへの累積派遣隊員数は1,175名(2015年10月末時点)に上り、ラテンアメリカで最多です。日本はホンジュラスに対する主要援助国で特に教育、保健分野での評価は高いと聞きますが、日本の援助をどう評価しておられますか。

大使 日本の協力隊員の活動はまさにホンジュラス人の琴線に触れています。数も中南米随一です。日本の青年たちがホンジュラス国内の遠隔地や僻地にまで入り込んで、住民に直接技術指導をしており、引っ張りだこです。またそれぞれが有益な結果を出しており、極めて重要な協力形態になっています。とりわけご指摘の二つの分野が重要で、教育分野では算数のレベル向上が著しいようです。保健分野も都市部および地方においてあらゆるレベルの協力で成果を上げています。なによりも両国民が草の根レベルで協力し合っているという点が重要です。

一両国間関係を一層促進、発展させるためには何が必要だとお考えですか。

大使 ホンジュラスとしては、ホンジュラス産品の対日輸出増大および日本からの投資を期待しています。ホンジュラスの輸出品目は農産品が主体で、既にコーヒーは対日輸出されていますが、一層の増大と新たにメロンの対日輸出を図りたく、現在農水省による植物検疫解禁の最終段階にあります。また農産品に付加価値をつけて輸出できればと考えています。現在はホンジュラスの大幅入超です。日本の技術は優れているためホンジュラス人は欧米製品よりも日本製品を選好し、車はすべてトヨタ製と言えるほどです。日本からの投資については、道路、空港(パルモレラ)、港湾(コルテス港の拡張)、コルテス港(大西洋)と太平洋の港を結ぶドライ・チャンネル計画等、政府は数々のBOT方式のインフラ・プロジェクトを計画しており、これらプロジェクトへの日本の参加を期待しています。日本企業にとってチャンスは多いと思います。また再生可能エネルギー分野でも日本の進出に期待しています。

また両国間関係を一層促進、発展させるためには、より一層の人的交流、学術交流、観光を含めた相互理解の促進が何よりも必要です。先日上智大学で「中米と日本—グローバル化時代の課題と展望」と題するセミナーが行われ、非常に興味深かったです。ただ、

できればホンジュラスおよび中米の現状についてもっと包括的に知って頂きたい、例えば冷戦下の長期にわたる紛争から和平を達成した中米のケースは世界でも稀な成功例ではないかと思われ、その辺の理解も深めて頂ければ有難いと思いました。

—ホンジュラスの当面の課題は治安と教育かと思われませんが、その実態と政府の対策は如何ですか。

大使 確かに治安は深刻な問題で、その主たる原因は麻薬にあります。麻薬取引は従来南米からコロンビアやメキシコを経由して消費地である米国へ運ばれていたのですが、コロンビアとメキシコが取り締まりを強化したため、麻薬カルテルは中継拠点を中米に移しています。エルナンデス政権は軍警察を増強して麻薬取引の取り締まりを強化しており、かなり成果を上げていますが、挑戦は未だ続いています。教育についてはこれまで教師によるストのため授業が学習計画表どおりに進まないという問題があったのですが、最近政府・教師間の理解が進み、学習計画を遵守する点では大幅な改善が見られます。また田舎や貧困地域にもパソコンを配布し、すべての子がインターネットにアクセスでき、貧富の差による技術格差を解消するよう努力しています。

—米国とキューバの国交再開はホンジュラス外交になんらかの影響を及ぼすでしょうか。

大使 特に影響と言えるものはないでしょう。ホンジュラスは従来両国と政治、経済、文化すべての点で良好な関係を維持しており、なんの問題もありません。米国・キューバの国交再開は西半球全体にとってより良い環境が醸成されるでしょう。

—『ラテンアメリカ時報』の読者に対してなにかメッセージはありますか。

大使 繰り返しになりますが、先ずなによりも日本企業に対しホンジュラスへの投資およびホンジュラス製品の輸入を積極的に検討されるよう呼び掛けたいと思います。また一般の方々にも多様な文化を持つホンジュラスを訪れこの国をもっと知って頂きたい。ホンジュラスは大西洋岸にも太平洋岸にもビーチがあり、エコツーリズム、マヤ遺跡、コロニアル様式、近代的要素、様々な民芸品及び芸術、料理等々があります。またホンジュラス人は外国人が大好きで、「おもてなし」の精神に溢れています。苦しい時

に助けて頂き、また青年協力隊を通じて親しんでいる日本の人々に対しては特に親切であろうと思います。

(インタビュアー ラテンアメリカ協会副会長 伊藤 昌輝)